

<様式3-1> (継続事業分)

## 事業別評価調書 (チェックリスト)

整理番号	1	事業名	新庁舎建設事業			補助	単独	地区名 (事業箇所名)	福島市五老内町 地内		担当部課名	財務部	新庁舎建設課
評価を受ける理由	第3条第1項(3) 継続事業												
根拠となる項目 (○をつける)	要綱	第3条第1項(1) 事業採択から5年経過した時点で未着工の事業											
		第3条第1項(2) 事業採択から10年を経過した時点で継続中の事業											
	○	第3条第1項(3) 評価実施から5年経過した時点で継続中の事業											
		第3条第1項(4) 計画変更を行おうとする事業 (軽微なものは除く)											
		第3条第1項(5) その他社会経済情勢の変化に伴い評価実施の必要が生じた事業											
		第3条第2項 事業に係る予算を新たに措置し、又は事業に着手しようとする事業											
	第3条第3項 本要綱と異なる対象事業案件が通知された国庫補助事業等												
事業概要	(事業目的及び全体計画)												
	(1) 事業目的	旧庁舎は、老朽化が著しく、狭隘で窓口も分散しているため、市民の方々の利用に不便をきたしていることから、市民サービスの向上はもちろん、防災拠点づくりや環境共生の取り組みなどととも、周辺地域のまちづくりにも寄与できる新庁舎を建設するものである。											
	(2) 全体計画	総事業費 179億円											
	H13	基本構想策定	H20~H22	東棟建設工事	(財源内訳)	国・県支出金	2億円						
	H16~H19	基本設計	H22~H23	旧庁舎解体工事	地方債	10億円							
	H19~H20	実施設計	未定	西棟建設工事	庁舎整備基金	164億円							
					一般財源	3億円							
	事業採択年度	H11	完成目標年度	未定	用地着手年度	H11	工事着手年度	H20					
	事業費 (百万円)	全体事業費 (うち用地費)	これまでの投資事業費合計	左の財源別内訳又は負担割合		これまでの年度別投資実績 (24年度は見込み値である。)							
		17,900 (2,713)	13,543 (2,713)	国 61 県 0 市 274 起債 500 基金 12,708		11~21年度	22年度	23年度	24年度				
					6,776 (2,713)	6,315 (0)	442 (0)	10 (0)					
進捗率	事業費ベース	75.6%	用地用ベース	100%	その他 ( )			%					
事業の進捗状況	(整備の状況)												
	平成20年 8月末 実施設計完了			平成23年7月 旧庁舎解体工事完了									
	平成22年10月末 東棟竣工												
	(事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し)												
	西棟建設については23年度着工予定であったが、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う復旧・復興及び放射能除染等を最優先として、建設は一時中断となっている。今後は、災害の復旧・復興の進捗状況を十分注視しながら、新庁舎建設市民懇談会等の各種懇談会で西棟の必要性について説明し、市民の理解を得たうえで再度事業着手となる見通しである。												
	(関連事業の進捗状況)												
	・周辺道路整備 (庁舎整備事業の進捗に合わせて進める予定であったが、西棟建設延期により先行して事業を進める。)												
	(西側)	市道仲間町・春日町線 L=190m	H20~H23	完了	}	H18	現況測量						
	(南側)	市道新浜町・東浜町線 L=240m	H21~H24	施工中		H19	道路設計						
	(北側)	市道曾根田・三本木線 L=290m	H21~H24	施工中		H19~H20	用地補償						
(中央)	市道浜田町・春日町線 L=620m	H23~以降	施工中										
評価	AA ・ (A) ・ B ・ C												
評価	AA ・ (A) ・ B ・ C												

[事業に関する社会経済情勢] (特記すべき事項)

(1) 変化の有無  有 ・ 無

(2) 変化の内容

① 新庁舎は、市道浜田町・春日町線の存続に伴い、2つの街区を有効利用し周辺市街地の街並みと調和を図る建物配置を基本に考え分棟方式とし、東棟については平成22年10月末に竣工した。しかし、平成23年度着工予定であった西棟建設については、東日本大震災及び東京電力福島第1原子力発電所事故による災害復旧・復興、放射能対策、特に除染対策を最優先に取り組んでいることから、着工を延期している。

② 放射線対策業務拡張に伴い、放射線総合対策課臨時事務所を建設用地内に開設する。また、関係者や市民の皆様が利用できる駐車場を整備するなど、西棟建設用地については、着工までの間、除染業務のより一層の推進及び市民の利便性の向上のため活用する。

③ 震災により水道局が入っていた分庁舎が大きな被害を受け、急遽東棟に移転してきたことから、現在水道局及び議会等は仮配置であり、庁舎は狭隘化している。

④ 新庁舎は、東棟・西棟あわせてはじめて防災拠点として機能(免震構造、非常用自家発電設備、備蓄倉庫、耐震性貯水槽、一時避難場所など)するものである。したがって、今後も所期の目的達成に向けて、市民理解を得るべく事業推進を図るものである。

(3) 地域の協力体制等

① 庁舎周辺まちづくり懇談会 (H18~)

(松木、浜田、花園、五老内の各町内会及び市役所東通り商店会、新庁舎周辺のまちづくりを考える会の各代表3名)

② 新庁舎建設市民懇談会 (H18~)

(自治振興協議会連合会会長、町内会連合会会長、中央地区町会連合会会長、商工会議所青年部会長ほか8名の有識者及び学識経験者)

③ 新庁舎における市民利用施設等懇談会 (H19~)

(市民公募委員7名、団体推薦委員6名、学識経験者1名、学生2名)

④ 新庁舎建設ユニバーサルデザイン推進検討委員会 (H19~)

(障がい者団体委員11名、学識経験者1名、市職員5名)

基本設計の段階から上記懇談会等を開催して意見聴取しながら、整備を進めている。

[事業に関連する評価指標等]

(1) 主要な評価指標の変化

新庁舎については、行政としての機能のほか、防災拠点や市民参加・交流の場としての機能も併せた整備が望まれている。

(2) その他特記すべき事項

市民サービスの向上はもとより

① 安全・安心のよりどころとなる防災拠点づくり

② 環境共生への取り組み

③ ユニバーサルデザインの実現

にも取り組んでいく。

## 事業別評価調書 (チェックリスト)

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p><b>【地元住民・受益対象者の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 地元等からは、現在地での早期建設の要望が出されている。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 地元自治振興協議会からは、西棟の早期建設要望が出され、市民利用施設や防災拠点施設として期待されている。</p> <p><b>【関係機関・団体の意向】</b></p> <p>(1) 事業採択時の意向 新庁舎の早期建設については共通意見。</p> <p>(2) 評価実施時の意向 自治振興協議会連合会や町内会連合会等の代表からなる新庁舎建設市民懇談会等においては、事業継続(西棟建設)について基本的に賛成いただいているが、着工時期については市民感情を考慮して慎重に判断すべき、との意見をいただいている。</p>	コスト削減や代替案等の可能性	<p><b>【計画変更の必要性】</b></p> <p>(1) 必要性の有無      <input checked="" type="radio"/> 有      ・ 無</p> <p>(2) 計画変更の理由及び内容 現在の設計は、平成20年8月のものであり、その後東日本大震災が発生したことにより、備蓄倉庫や一時避難場所などの防災機能及び資材や人件費の値上がりによる設計単価の見直し検討が必要である。</p> <p><b>【代替案立案の可能性】</b></p> <p><b>【コスト削減の取り組み等】</b> (特記すべき事項)</p> <p>①完成後の維持管理も含め、トータルコストの削減を図る。 ②自然エネルギーの活用や市民利用施設、防災関連施設等の整備にあたっては、国庫補助金等を活用しコストの削減に努める。</p>												
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価</td> <td style="padding: 2px;">AA</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px; border: 1px solid black; border-radius: 50%; text-align: center;">A</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px;">C</td> </tr> </table>	評価	AA	●	A	●	B	●	C						
評価	AA	●	A	●	B	●	C								
費用対効果分析等の要因の変化	<p><b>【費用対効果分析】</b></p> <p>(1) 手法</p> <p>(2) 費用対効果の変化 ・ 事業費 (建築工事、用地取得費等) 試算</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">H14.3 基本構想策定時</td> <td style="width: 45%;">約 223 億円</td> </tr> <tr> <td>H18.3 総合計画後期基本計画策定時</td> <td>約 199 億円</td> </tr> <tr> <td>H19.7 基本設計完了時</td> <td>約 182 億円</td> </tr> <tr> <td>H20.8 実施設計完了時</td> <td>約 179 億円</td> </tr> </table> <p><b>【費用の変化等で特記すべき事項】</b></p> <p>①西棟の変更設計を平成23年2月に完了したが、その後東日本大震災が発生したため着工を延期したことにより、見積りの有効期間が経過してしまったこと。また、資材や人件費が値上がりしているため設計書の単価見直し作業が必要となり、今後は事業費増が予想される。</p> <p>②自然エネルギーの活用や環境負荷の低減を図りながら、建設後の維持管理費用も含めたランニングコストの検証を行う。</p> <p><b>【需要効果の変化等で特記すべき事項】</b></p> <p>①安全・安心のよりどころとなる防災拠点としての役割を果たすため、庁舎の耐震計画は、費用対効果を考慮し、東棟は「免震構造」、西棟は「耐震構造」とし、震度7相当の地震にも耐える構造とする。</p>	H14.3 基本構想策定時	約 223 億円	H18.3 総合計画後期基本計画策定時	約 199 億円	H19.7 基本設計完了時	約 182 億円	H20.8 実施設計完了時	約 179 億円	総合評価と対応方針	<p><b>【総合評価と対応方針】</b></p> <p>(1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>新庁舎は、これまでの行政機能に加え、防災拠点や市民交流の場としての機能も含め、すべての人が利用しやすいユニバーサルデザインの実現に取り組みながら、開かれた市役所として整備していくことが望まれている。</p> <p>また、東棟は完了したが、西棟も完了してはじめてその目的が達成されるものであり、新庁舎を建設することによって、市民サービスの向上をはじめ、市民協働のまちづくりとともに地域活性化にも寄与できるものと高く評価する。</p> </div> <p>(2) 対応方針案及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応方針案</th> <th style="width: 80%;">継続</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">市民の理解を得るため、新庁舎建設市民懇談会等の各種懇談会において、西棟の必要性について説明し、災害復旧・復興の進捗状況を十分注視しながら西棟の建設着手を目指したい。 なお、設計単価を見直すとともに、引き続き市民懇談会等を開催し、意見をいただきながら、まちづくりの視点で、市民に開かれた庁舎づくりを進める。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p>	対応方針案	継続	今後の事業の進め方	市民の理解を得るため、新庁舎建設市民懇談会等の各種懇談会において、西棟の必要性について説明し、災害復旧・復興の進捗状況を十分注視しながら西棟の建設着手を目指したい。 なお、設計単価を見直すとともに、引き続き市民懇談会等を開催し、意見をいただきながら、まちづくりの視点で、市民に開かれた庁舎づくりを進める。
H14.3 基本構想策定時	約 223 億円														
H18.3 総合計画後期基本計画策定時	約 199 億円														
H19.7 基本設計完了時	約 182 億円														
H20.8 実施設計完了時	約 179 億円														
対応方針案	継続														
今後の事業の進め方	市民の理解を得るため、新庁舎建設市民懇談会等の各種懇談会において、西棟の必要性について説明し、災害復旧・復興の進捗状況を十分注視しながら西棟の建設着手を目指したい。 なお、設計単価を見直すとともに、引き続き市民懇談会等を開催し、意見をいただきながら、まちづくりの視点で、市民に開かれた庁舎づくりを進める。														
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">評価</td> <td style="padding: 2px; border: 1px solid black; border-radius: 50%; text-align: center;">AA</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px;">A</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px;">B</td> <td style="padding: 2px;">●</td> <td style="padding: 2px;">C</td> </tr> </table>	評価	AA	●	A	●	B	●	C						
評価	AA	●	A	●	B	●	C								

